

事務連絡

令和5年5月8日

各都道府県 御中

各政令指定都市 御中

**地域脱炭素ネットワークイベント
参加地方公共団体の募集について**

環境省大臣官房地域政策課
地域循環共生圏推進室

平素より、地域脱炭素の取組にご協力賜り厚く御礼申し上げます。

環境省はこの度、標記の地域脱炭素※の実現に向けた企業と地方公共団体とのネットワークイベントを対面で開催するにあたり、参加する地方公共団体を30団体程度募集いたします。

地方公共団体が地域脱炭素に向けた施策・事業を推進するに当たり、予算・人材の確保に加え、施策・事業の立案・実施段階において協業する企業の不在が課題となっています。これを解消する一助として、専門的な技術やノウハウを有する企業とのマッチングを行うことを目的として、本イベントを開催いたします。

ご参加いただく地方公共団体には、企業との協業により解決したい地域課題や取り組みたい事業についてプレゼンテーションいただいた後、地方公共団体にご興味のある企業と個別に面談いただくこととなります。

本イベントが、地方公共団体のニーズに対して興味関心をもつ企業と出会う機会となり、地域脱炭素の推進に一層貢献できればと存じます。ぜひご参加ください。

つきましては、お忙しい中大変恐縮ですが、各都道府県及び政令指定都市内の関連部署、並びに管内の市区町村担当部局に対して周知いただきますようお願い申し上げます。

※地域脱炭素とは、脱炭素を成長の機会と捉える時代の地域の成長戦略であり、自治体・地域企業・市民など地域の関係者が主役になって、今ある技術を使って、再エネ等の地域資源を最大限活用することで実現でき、経済を循環させ、防災や暮らしの質の向上等の地域の課題をあわせて解決し、地方創生に貢献するものです。

(1)開催概要

日 時：令和5年8月31日（平日）10：00～17：00

主 催：環境省

参 加：地方公共団体

※企業の募集（60社程度）は後日開始します

参加費：無料。各地方公共団体に対して、2名分の旅費を環境省から負担します

会 場：東京国際フォーラム

(2)プログラム（予定）

10：00 環境省から挨拶

10：05 趣旨・グラウンドルール説明

10：10 地方公共団体プレゼンテーション【30団体×3分】

13：00 マッチング会（個別ブース）【8クール×15分】

※各ブースにファシリテーターを配置

15：40 交流会（名刺交換を通じたネットワーキング）

+希望企業によるピッチ

17：00 閉会

(3)申込方法

別添の申込フォームに必要事項をご入力の上、期日までに「sokan-keikaku@env.go.jp」まで、電子メールにて、別添申し込みフォームを送付する形でお申し込みください。

申込締切日：令和5年6月2日（金）17：00まで

選定結果は、令和5年6月中旬にご連絡いたします。

こちらのサイトに、過去のイベントで各地方公共団体が作成した資料を公開しておりますので、ぜひご参照ください。（<https://local-re-jinzai.env.go.jp/carbon-neutral-nw/public/>）

(4)ご参加にあたっての留意点

1. 本マッチング会のご登壇者様には、皆様がお持ちの課題意識を企業の方にわかりやすく伝えるため、プレゼンテーションの内容や技術等に関して専門家と意見交換を行うオンライン事前研修（メンタリング）に、7月に2回程度（各回30分程度）ご参加いただきます。研修の開催日程は、ご登壇いただく地方公共団体が決まったのちに、改めてご連絡いたします。

2. 本会は開催テーマに「地域脱炭素」を設定しております。応募多数の場合は、地域課題の解決と脱炭素の同時実現という地域脱炭素・地域循環共生圏の考え方に沿った協業提案があった団体を優先して選定いたします。

(5)資料作成

ご登壇が決定した地方公共団体は、当日のプレゼンテーション資料を作成し、指定する期日までにご提出していただくよう、登壇決定と合わせて通知いたします。

(参考) プレゼンテーション資料の様式

形式：PowerPoint 又は PDF、A4 横向きであれば様式は自由。

枚数：不問です。3分以内にプレゼンテーションが収まる範囲で作成してください。

また、当日のプレゼンテーションには使用しない参考資料を添付することも可能ですが、どのページが参考資料に当たるのかを明示してください。

文字の大きさ：14ポイント以上。フォントの指定はありません。

提出期日：令和5年7月4日（火）17：00まで

※オンライン事前研修における専門家からのアドバイスを踏まえて、資料を修正していただく可能性があることから、暫定版での提出で構いません。

(6)お問合せ先

不明点がある場合は、下記の担当へお問い合わせください。

担当：環境省大臣官房地域政策課 地域循環共生圏推進室 加藤、深津

電話：03-5521-8328、E-mail：sokan-keikaku@env.go.jp

<参考：当日までの流れ>



昨年度の開催レポート

本イベントは、令和4年度に初回開催し、地方公共団体数18団体、企業数50社にご参加いただきました。マッチングの機会を設けることに加えて、事前に準備（地方公共団体発表者のメンタリング）を行うことによって、マッチングの効果を高めています。メンタリングでは、地域の特徴・現状をふまえて地域脱炭素をどのように進めていきたいかを整理し、企業へのアプローチの仕方を事前に習得するお手伝いをいたします。

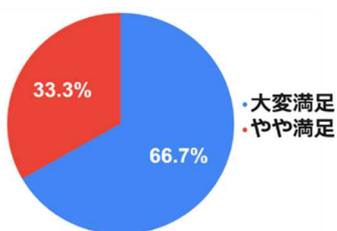
その結果、イベント終了2ヶ月時点のアンケートでは、協業に向けて地方公共団体と企業の間で検討が継続している件数は89件（1自治体平均で5企業程度）となり、イベント後も継続する活発な交流が生まれました。

① 当日の様子



② 参加地方公共団体アンケート結果

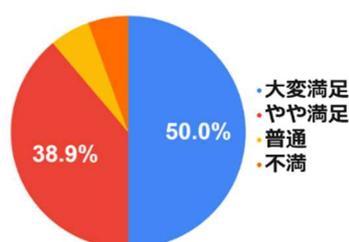
◆本イベントの満足度



（第1回参加地方公共団体コメント）

- ・企業から、地域の課題解決と一緒に取り組みたいという気持ちを感じられ、とても前向きな話しをすることができた。
- ・様々な有益な情報を得ることができ、関係機関や企業等との繋がりができた。
- ・事前に参加する企業が把握できたため、会話するイメージをもって当日を迎えることが出来た。

◆メンタリングの満足度



（第1回参加地方公共団体コメント）

- ・外部から具体的な評価を貰えたことで資料作りや発表方法の見直しができ、当日の不安が無くなった。
- ・発表の受け手側の意見を的確に述べていただき、発表資料のブラッシュアップができた。
- ・参加者に対して伝えるべきポイントを整理できた。

地域脱炭素ネットワークイベント 申込フォーム

※本フォームの記載内容は、後日企業の募集を行う際に、環境省 Web サイトに掲載する予定です。

地方公共団体名	例：〇〇県〇〇市
所属部局 担当者名	例：〇〇部〇〇課〇〇係 担当：係長 環境 萌恵
地域の抱える 課題	<p>【環境・脱炭素に関する課題】</p> <p>．．．．</p> <p>【同時解決したい地域の課題】</p> <p>．．．．</p>
地域のありたい 未来	※課題解決を通して実現したい、「地域のありたい未来」を簡潔な一文で表現してください
事業の概要	<p>例：・〇〇への〇〇の導入</p> <p>・〇〇を行う事業体の設立</p> <p>・〇〇制度の普及 など</p> <p>※「地方公共団体の地域全体を対象にした脱炭素計画の策定」のような内容ではなく、具体的なプロジェクトを想定しています</p>
企業に求めたい 内容	<p>※技術や知識と合わせてどのような段階の支援を必要としているか記載をお願いします。</p> <p>例・ZEH/ZEB 化に住民が積極的に取り組む仕組み作り</p>

(A4 で 2 枚まで。図・写真の挿入も可)